

まちの散歩道

101

散歩道で考える事

坂田 満雄さん (駒寄)



私は駒寄村で生まれ
小中学校を卒業、吉岡
村で成人式、吉岡町で
70歳を迎えました。会

社勤めも終わり地域の
シンボルを訪ねる散歩
が今の仕事、天狗岩用
水の関ヶ原から始まる
四百年以上の歴史や、
戦後すぐの利根川水害
からの堤防作り、天狗
や受刑者の力も借りて
苦勞して作られている
んですね。東日本大震

災での津波や原発事故
を思う時、風力、水力、
太陽光発電のある姿は
町の誇りだし、自然エ
ネルギーの研究都市と
して貢献してほしいと
思うんですよ。でも人
間は過去の怖さも苦勞
も忘れてしまう。自然
エネルギーへの取り組



みが岐路にあるとの記
事を見ると寂しいよ
ね。どうか歴史に学び
自然を大切にしてい

優しい町になって下さ
い。洪水除観音に合掌
しています。

議会を傍聴して



西川 和夫さん (駒寄)

議会への傍聴参加を

ネット録画での議会
傍聴は何度かあります
が、議会議場での傍聴
は初体験でした。

ネット録画での議会

傍聴は何度かあります

が、議会議場での傍聴

住民として、今後財政
負担の大きな、医療費

質問する議員さんも
いろいろ調べ、問題を
提議し、質問を受ける
行政側も丁寧に回答し
ているので、行政側の
進行状況、計画なども
よくわかり、議会が身
近に感じられました。
議員を選出する地域

誘い合って傍聴に
来てくださーい

削減のための予防医療
の施策、40年以上の経
過の公共インフラの現
状、今後の方針など含
め、議会での論戦を期
待します。町政・議会
に関心を持ち、誘い合
って傍聴しましょう。



私もひとこと

各自の防災意識を高
めることも重要で
すが、地域のつながり
、団結力なども必要と思
います。普段から
地域の行事に参加
するなどして交流
することも、非常
に大切なことだと
感じています。

防災意識を高める



福田 由美さん (漆原西)

先日、自治会主催に
よる防災訓練が開催さ
れました。職場や学校
などでは防災訓練が行
われますが、地域にお
ける訓練の必要性も感
じていたので、大変よ
い機会と思い家族全員
で参加しました。

当日は防災士による
講話や避難所の体験、
非常食の試食などがあ
り、とても有意義なも
のでした。

積極的な参加ありがとうございます



全国 群馬県 町村議会議長会表彰

今年2月に開催された全国町村議会議長会定期総会、群馬県町村議会議長会定期総会において表彰された議員の表彰状の伝達が、3月定例会初日に行われました。表彰された議員は次のとおりです。

全国町村議会議長会表彰 【自治功労者表彰】 ○町村議会議員27年以上 小池 春雄 議員	群馬県町村議会議長会表彰 【特別表彰】 ○議会議員23年以上 小池 春雄 議員	【一般表彰】 ○議会議員10年以上 岸 祐次 議員 馬場 周二 議員
--	--	--



小池 春雄 議員



岸 祐次 議員



馬場 周二 議員

よしおか クイズ No.119

- 問1 一般会計予算は何億円でしよう。
A. 52億円 B. 62億円 C. 72億円
- 問2 平成30年度主な事業の学校給食食材費助成の金額は何万円でしょう。
A. 5万円 B. 50万円 C. 500万円
- 問3 明治小学校議会体験では何人が質問したでしょう。
A. 10人 B. 15人 C. 20人

【応募方法】

- はがきに答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。
 - ご意見やご要望などもあわせてお寄せください。「お便りコーナー」で紹介します。
 - 応募先
〒370-3692
吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局
 - 応募期限 6月1日消印有効
 - 賞品 正解者の中から抽選で5人の方に、図書カードをプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。
- 前回の正解は1-A、2-A、3-Cでした。

皆さんの傍聴をお待ちしています

次の議会は6月上旬を予定しています。
会議は9時30分から始まります。
ぜひお越しください。
詳しい日程などは広報よしおか6月号に掲載されます。
また、まちホームページでもお知らせします。

表紙の写真

「花と緑のぐんまづくり2018 in 吉岡」の開催に伴うイベントとして、3月10日の土曜日に町民有志の協力で、サテライト会場となる「道の駅よしおか温泉」の公園周辺に、日本桜の会から贈呈された河津桜の苗木50本を植樹しました。
一日も早く大きくなって、きれいな花で私たちを楽しませてくれる日が、とても待ち遠しく感じられます。



永井 緑さん
(下野田)

地域で支え合う仲間

私もひとこと

私たちは、人との触れ合いを大切に、話や笑いで大きな輪もでき、和気藹々で、支え合う仲間作りを楽しんでいます。

高齢者社会を迎え一人暮らしの方や、家族と一緒に暮らしているも、昼間一人になり、引き籠りがちの人達が気軽に集まれる場所として「サロンこのゆびとまれ」を立ち上げ7年です。始めは参加者も少なく、今では、近所の人達に声を掛け合い、27人ほどで、軽体操、ゲーム、お茶会、季節行事で、笑い声が響き、年1回バス旅行計画、秋の収穫祭にはケンチン汁を作り健康と大地の恵みに感謝し美味しく食します。

「サロンこのゆびとまれ」でいつまでもお元気で

